

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立八潮高等学校		Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	校訓「清純 真摯」を踏まえた学校像である。生徒の実態や学校の現状に応じたものとなっており、生徒・保護者・地域の期待に応え、学校として目指す方向が明確に示されたものとなっている。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	学校の取り組むべき課題が具体的に示され、日々の教育活動の指針となる目標となっている。体育コースを併置する学校としての特色や学校の置かれた状況などを十分把握した上で、中期的な視点から、更に検討・整理していただきたい。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	評価運営委員会と分掌等が連携し、学校自己評価システムが運営されている。分掌・教科間等の連携を一層図り、よく議論しながら、より具体的な評価項目や方策について検討・策定する組織体制を整備して、教職員全体の参画を促していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	学校の現状やアンケートの結果等に基づき、様々な方策が策定されている。高い志を持ち学習する生徒を支援する「特伸クラス」の設置や、二年生による中学校への母校訪問など、目標達成に向けて学校全体として着実に踏み出し、成果も見られ始めている。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が「「学び直し」から「夢」の実現を」をスローガンとして明確に掲げ、生徒・教職員等一人一人を尊重しながら学校経営に意欲的に取り組んでいる。校長の的確なリーダーシップの下、現在の方向性を貫き、教職員が共通理解を持って組織的・計画的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	年度評価や学校関係者評価などを基に、取り組むべき課題や改善策が示されている。学力向上委員会などの組織を十分活用し、分掌・学年・教科と学校全体を緊密に連携させ、より組織的なPDCAサイクルを確立していただきたい。	
特記事項			